

臨床研究に関する情報公開（一般向け）
「びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫・非胚中心 B 細胞型に対するポラツズマブ
ベドチン併用レジメンの後方視的解析」へご協力をお願い

—2021 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に、当院でびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に
対して化学療法（R-CHOP 療法、もしくは PR-CHP 療法）を実施した患者様方へ—
(2025 年 8 月 5 日作成 ver2.0)

研究機関名：東海大学医学部付属病院

研究責任者：東海大学医学部付属病院 血液腫瘍内科教授 川田 浩志

共同研究機関：金沢大学附属病院、他

金沢大学における研究責任者：金沢大学附属病院血液内科 助教 吉田晶代

金沢大学における個人情報管理者：金沢大学附属病院血液内科 助教 吉田晶代

本臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。金沢大学では、金沢大学附属病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

1. 研究の対象

2021 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に、当院でびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対して化学療法（R-CHOP 療法、もしくは PR-CHP 療法）を実施した患者様。

2. 研究実施期間

2025 年 8 月 6 日 から 2026 年 3 月 31 日 まで

3. 研究目的・方法

下記の診療情報等を利用し、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する新規治療の有効性を検討する研究を実施するため、当院において抗がん剤治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにリンパ腫診療に関わるデータを選び、治療効果や副作用に関する分析を行います。

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：年齢、性別、リンパ腫病型、国際予後指標（International Prognostic Index：IPI）、巨大（Bulky）病変の有無、治療に要した薬剤の予定用量に対する実際の用量、有害事象（腫瘍崩壊症候群、注入後反応、感染症、便秘症、末梢神経障害、心不全）の有無、治療効果判定、再発・生存の有無
- ・試料：リンパ腫標本スライド

5. 研究組織

上記の情報を共同研究実施のために下記機関から東海大学へ提供します。

主な提供方法：電子的配信、郵送

共同研究機関および研究責任者名

東海大学医学部附属病院 血液腫瘍内科 川田 浩志

日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科 三浦 勝浩

独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 血液・膠原病内科 入山 規良

春日部市立医療センター 血液内科 中川 優

東海大学医学部附属八王子病院 血液腫瘍内科 横山 健次

海老名総合病院 血液内科 沼田 裕樹

小澤病院 血液内科 笹尾 保

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター 血液内科 斉藤 明生

群馬大学医学部附属病院 血液内科 宮澤 悠里

神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 橋本 千寿子

平塚共済病院 血液内科 山下 卓也

金沢大学附属病院 血液内科 吉田 晶代

島根県立中央病院 血液腫瘍科 三宅 隆明

公立藤岡総合病院 血液内科 外山 耕太郎
金沢医科大学 血液・リウマチ膠原病科 正木 康史
川崎医科大学 血液内科 近藤 英生
伊勢原協同病院 血液内科 田爪 圭

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

金沢大学附属病院 （電話：076-265-2000）

研究責任者： 血液内科 助教 吉田晶代